

JPRO 出版情報登録センター説明会

BooksPRO「出版情報をすべての書店へ」

資料集

一般社団法人 日本出版インフラセンター 出版情報登録センター

2019年12月16日

JPRO 出版情報登録センター説明会

BooksPRO 「出版情報をすべての書店へ」

主催：一般社団法人 日本出版インフラセンター
出版情報登録センター

日時：2019年12月16日（月）
10：30～／13：00～／15：30～

場所：出版クラブ4階

*司会進行：米津ますみ（出版情報登録センター）

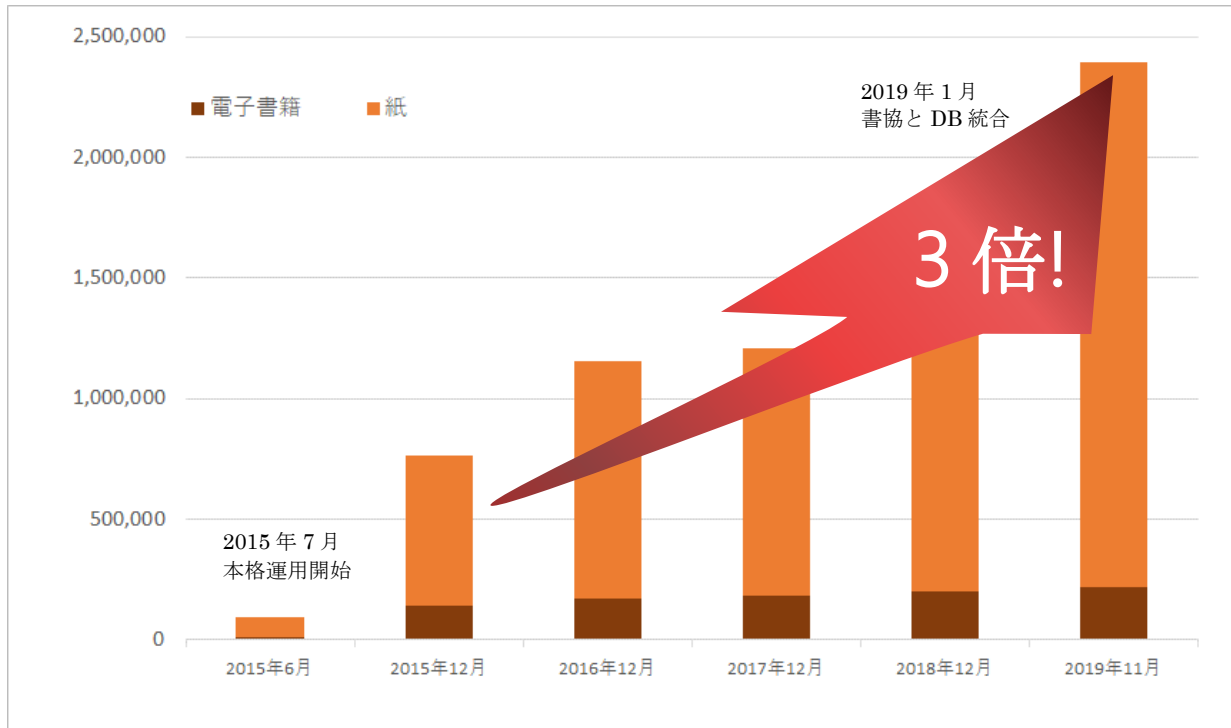
1. 「BooksPRO の目指すもの」
柳本 重民（出版情報登録センター管理委員会 委員長／集英社）
2. 「BooksPRO の概要と情報登録のルール」
田中 敏隆（出版情報登録センター管理委員会 委員長代理／小学館）
3. 「効果的な販促情報登録について」
澤田 剛（販促WGリーダー／集英社）
4. 「試し読み機能活用の勧め」
小見山 康司（試し読み推進委員会 委員長／白泉社）
5. 「ムック・雑誌について」
井上 直（雑誌PTリーダー／ダイヤモンド社）
6. 「質疑応答」
7. 「事務局からのお知らせ」
JPRO 事務局（日本出版インフラセンター）
8. 「閉会の挨拶」
渡辺 政信（日本出版インフラセンター）

目次

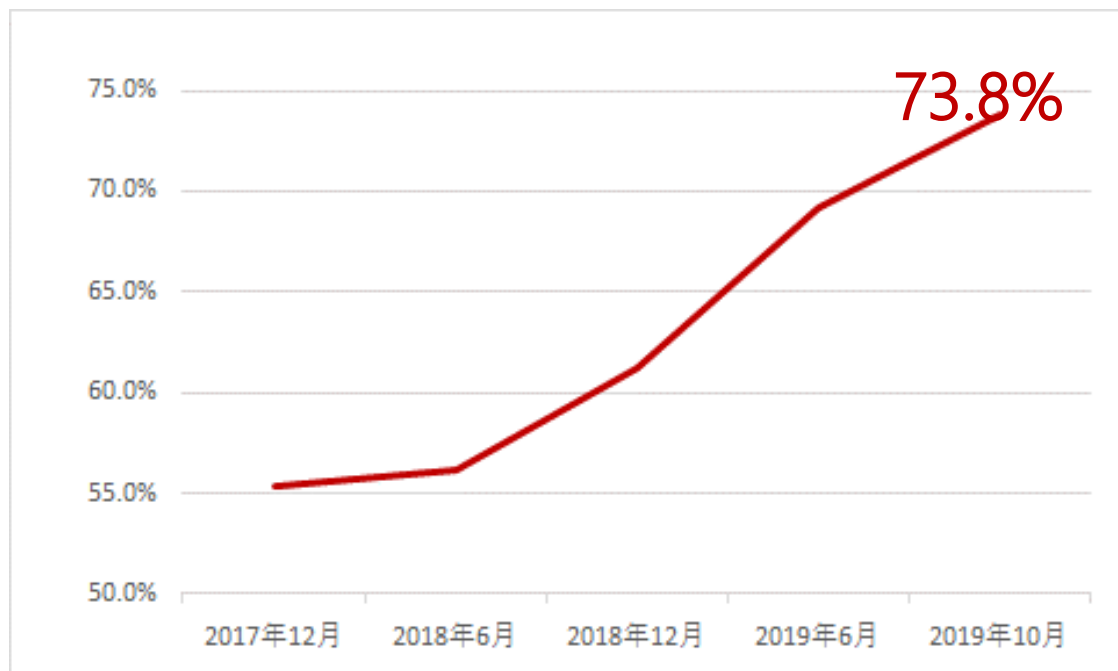
ここまで来た！ JPRO.....	1
ご挨拶.....	2
JPRO MORE～Road to Market IN～.....	4
販促情報を登録しよう!!.....	7
ためし読み機能ご活用のすすめ.....	11
ムック・雑誌の早期登録について.....	13

ここまで来た！ JPRO

1. 基本書誌登録数：約 240 万点



2. 近刊書誌情報登録率：73.8% ※2019年10月 委託配本に対する登録率



ご挨拶

出版情報登録センター管理委員会 委員長 柳本 重民

本日は大勢の皆様にお越しいただきまして、ありがとうございます。

9月17日のJPRO新展開説明会で、Books PROを2020年3月に立ち上げると宣言いたしました。以来3か月、侃々諤々、やっと本日の出版社向け入力説明会にまでこぎつけることができました。まだまだ未完成な部分もございますが、ぜひぜひ積極的にご参加いただけるようお願いいたします。

まず前提として理解していただきたいのは、一般読者向けのPub DB（1月6日からBooksという名称になります）と、プロユースのBooks PROがあるということです。

Booksは一般のどなたでもご覧になれる既刊の書誌データ検索サイトです。

一方、Books PROはJPROに登録され蓄積された近刊・既刊の書誌データを、書店、図書館、取次といった本を扱うプロの方々に見ていただくポータルサイトです。

既刊におきましては、いろんなデータベースで見ることができますが、これから出る本、近刊の書誌データが見られるのはBooks PROだけです。

まず近刊書籍、これから出る本の総合カタログを作りたいと考えました。

出版界にマーケットインの考え方を実現するには、これから出る本のカタログが絶対必要です。どんな本がいつ出るのか、値段はいくらくらいなのか、知らなければ始まりません。

これからはBooks PROに載らない近刊は書店や図書館に見ていただくカタログに載らないことになります。

どの出版社が自社の本がカタログから外れることを望むでしょうか？

勿論、ライバル出版社に出版計画が漏れてしまうという心配もございましょう。大丈夫です。見ていただけるのはJPROが定めたIDをお持ちの取次、書店、図書館の方だけです。

他社に流れることは基本ありません。それでも心配でしたら、情報解禁日でコントロール可能です。

JPROの登録料一点1000円、プロ向けのBooks PRO、読者向けのBooks、このサービスが使えるて、登録料は据え置きです。一切、特別にはいたしません。

Books PROの新機軸、売りはたくさんあります。売りをたくさんにするかしないかは、出版社の皆様次第です。販売努力の一つだと思います。

Books PROでは、様々な情報の登録ができるようになります。

具体的には、これから登壇するメンバーからの説明に委ねますが、

早い登録と確定、リッチな情報の質と量が必要です。Quickly、Quality、Quantity、三つのQです。出版社のやる気がそのまま書店に伝わるのです。

そして、トーハンのTONETS-V、日販のNOCS7との連携を進めております。TONETSやNOCSの画面とBooks PROがつながります。日販、トーハン等取次とはBooks PRO構想の最初から深

く連携しワンチームとなって進めております。また、Web まるこや S-BOOK、WebHotLine、Book インタラクティブにもつなげることを考えています。

さて、この Books PRO が果たしてどんな書店様に見ていただけるのだろうか。これは一番の問題かもしれません。我々は紀伊國屋書店をはじめ、三省堂書店、TSUTAYA、丸善ジュンク堂書店、有隣堂等とも話し込みをし、ご賛同をいただいております。新風会や日書連の会合でも説明会をやらせていただきました。また、来年になりましたら、取次とも協力しあい全国の書店にも出向き P R していく所存です。

この Books PRO に、皆さんがご自分の会社の本を売り伸ばすために、どしどし情報を打ち込んでいただければ、大きな出版社の情報も小さな出版社の情報も同じように表示されます。

また、大きな書店も小さな書店も同時に同じ情報を得ることができます。

amazon や特別なお店だけに届いていた情報が、ウェブ上で全国津々浦々の書店さんと共有できるのです。

データを一つ作って JPRO、Books PRO に流せば拡材もファックスやメールで流さなくてもこのポータルサイトから受け取っていただけることになるのです。

先日書店様からは「これを使わないとこれからの書店はやっていけない！」との声もいただきました。ぜひぜひ一緒に新しい出版の流れを作っていきましょう！

JPRO MORE～Road to Market IN～

出版情報登録センター管理委員会 委員長代理 田中 敏隆

9月にお知らせいたしました通り、書店店頭にまで出版情報を届けるサイト Books PRO のオープンが3月10日に決まりました。

Books PRO は、書籍や専門書、ムック、雑誌など出版物を取り扱っていただいている方々に出版物を知っていただく、それも、発売前の情報をお届けするサイトです。

共有書店コードでログイン、TONETS-V、NOCS7 との連携や、将来的には図書館関係者などにもご利用いただけるよう予定しております。

Books PRO では、書店の担当の方々がより探しやすくなるように、いくつかの項目と機能を付け加えました。

JPRO ジャンル

一つが JPRO ジャンルです。現在は C コードと広報誌用ジャンルが登録項目ですが、JPRO ジャンルとして別途一冊に3種類まで登録できるようにします。

書店の棚や担当を意識したジャンル分けで、大ジャンル、中ジャンル、小ジャンル（予定）の構成です。なるべく探しやすいように、そして、見つけやすいように3つ選択できます。

大ジャンルをまたがって登録できるので、検索しやすくなります。

サンプル画像

次にサンプル画像です。

9月にはサンプル表紙とちよい見せで紹介しましたが、一括で入力出来る方が手間がかからないのではと、このようにしました。

書影が決まるまでに書店に伝えるイメージ書影や、目次や本文のような内容がわかる画像を入れることが出来るようにしました。

大ジャンルのセレクト出来るタブとフリーワード検索が出来る検索窓があります。フリーワードですので、内容紹介などが充実している方がヒットしやすくなります。

大ジャンルのタブをセレクトすると中ジャンルが現れます。

文庫新書を選択すると、ノベライズ、日本文学、世界文学、学術・教養、雑学、歴史、その他ジャンル、文庫出版社別、新書出版社別（予定）などの中ジャンルが表示されます。中ジャンルを選択して検索すると、その中ジャンルで絞り込まれた結果が出てきます。

既存の書誌に関しては、入力済みの C コードと取次広報誌用ジャンルからコンバートして、すでに登録していただいている書誌には JPRO ジャンルとして付与します。コンバートの一覧は現在作成中です。入力のサイトがスタートするまでに公表します。



Books PRO トップページ検索窓イメージ（デザインは変更になることがあります）

2020年2月3日には、JPROのトップページにBooks PROの登録ボックスが出来ます。Books PRO専用項目はここから入力をお願いします。近刊はもちろん、既刊も追加修正は可能です。



2020年2月3日よりJPROトップページに「Books PRO」「販促情報」ボタンが設置予定

現在、書影が 30 日前に登録されているのは 3 割弱です。

なぜか。それは、ネット書店に書影が配信されるので、確定した書影しかアップできないからです。しかし、書店にしか届かない Books PRO では気にすることはありません。サンプル画像として、イメージを書店に届けてください。表紙と目次と本文の一部が見たい、これは、図書館の選書をする司書の方の声でもあります。この書影部分は、正式な書影をアップしていただければ自動的に本番画像に差し替わります。

マーケットインだけでなく、本を沢山売るためには知ってもらうことが大事です。

基本書誌情報の推奨入力日は、発売予定日の 60 日前ですが、現状では 60 日前の登録率は 20% 程度です。

何が一番ネックかと考えました。本体が決定出来ないことがネックではと思い、本体の設定をデフォルトでは、「予価」としました。

こうさくはっちゃん おすしやさん
著：ひらぎみつえ

ISBN：9784097250128 版型：236x205mm
Cコード：8771 ページ数：32ページ
発行所：小学館 再版：○
対象読者：小学中学年 予価：1200円（本体）

内容紹介

おすしやさん開店だよ。へい、らっしゃい！

みんなが大好きな工作、そして、
だれもが大好きな回転寿司屋さんのお話ですー。

「今日、回転寿司に行ってきたよ。とってものしかったんだ」
家族で回転寿司屋さんへ行ってきたはっちゃんは、なかよしバンドのばんちゃんといっしょに、おうちで回転寿司屋さんを開きます。
紙をくしゃくしゃ、色紙をちよきちよき。
おいしそうなお寿司がどんどんできあがります。
くるくる回すにはどうしたらいいかな？
お客さんに楽しんでもらうにはどうしたらいいかな？
さあ、どんなお寿司さんができあがったかな？
それは、絵本を読んでものお楽しみ！

いっしょに工作をしているような感覚で楽しめる絵本です。

公式サイト
ためし読み

カテゴリー
児童文学 > 絵本
児童文学 > 読み物

Books PRO での書誌詳細ページ項目表示イメージ

今まで多少運用が曖昧だった情報ステータスを確定にさせていただくことで、予価（本体＋税）が定価（本体＋税）もしくは価格（本体＋税）に変わります。

確定の要件は、「本体」です。「発売予定日」が決まらなくても、「本体」が決まったら「確定」してください。

出版業界はシュリンクしていると思われていますが、まだまだ販売促進の手段はあります。

売りたいと思っている方たちに情報やツールを届けることです。

この後、販売促進に役立つ様々な情報を配信する方法や試し読みをご紹介します。

なるべく早い情報を、様々なツールとともに、なるべく多く伝えることで、Books PRO の利用頻度が増して、より効果的になることは確実です。

ご協力のほど、是非よろしく申し上げます。

販促情報を登録しよう!!

出版情報登録センター Books・Books PRO 推進会議
販促 WG リーダー 澤田 剛

販促情報は、現状でも取次会社や出版社により書店や読者に向けて提供はされていると思われませんが、これで充分と言えるのでしょうか？

いいえ、そうではないはずです。

情報はいろんなところに存在します。なにがどこにあるのか、細かくチェックしていないとわからないことも多く、絶対的に時間が不足しているのが書店店頭の実状です。

Books PRO では、多忙な書店の現場に対して、ワンストップで情報を提供していくことを最大の目標にしております。

既に JPRO では、ネット書店を含むすべての書店に、近刊の書誌情報を提供することが可能ですが、Books PRO では、もう一步踏み込みたいと考えております。

読者に必要とされる本を、その情報を、最前線にタイムリーに届けるため、Books PRO で貴社の販促情報を公開してください。

みなさまとともに、マーケットイン型の取引に向かう道の第一歩を、踏み出したいと考えております。

それではここでイメージを大づかみしていただくために、制作途中ではありますが、販促情報登録画面のサンプルを紹介してまいります。

JPRO のトップページ (<https://jpro2.jpo.or.jp/>) は、ブックマークしておいてください。

次に販促情報を Web でご登録いただくためのページです。

ログインすると、用途別にボタンが並んでいます。販促情報の登録は「販促情報」→「新規登録」から行います。

登録できる項目は、以下の通りです。

- ① 対象リスト：1巻～10巻等やシリーズでも登録可能です
- ② 発行元出版社：ログインすれば、自動で登録済みの発行元が表示されます
- ③ 掲載期間：掲載開始日と掲載終了日の設定が可能です
※設定なしの場合は30日で掲載が終了します
- ④ 販促情報のタイプ：選択して登録してください
- ⑤ ヘッドライン：Books PRO のトップページなど一覧で出てくる見出しの部分です
- ⑥ 内容
- ⑦ 販促材料：拡材などファイルもアップロードできます

トップページの販促ヘッドラインはこのようなイメージです。

販促情報ヘッドライン

すべて 重版 メディア化 受賞 書評 新聞広告 メディアで紹介 版元一押し その他

重版	2019年00月00日	新聞広告	2019年00月00日 日本経済新聞/記事下 全5段掲載、橋玲「上級国民/下級国民」、許永中「海峡に立つ」
重版	2019年00月00日	版元一押し	2019年00月00日 7/25発行!夏の新刊絵本!「わたしうみにいったのよ」躍進中の絵本作家・糟谷奈美(かすやなみ)、待望の第2作。
重版	2019年00月00日	その他	2019年00月00日 著者の工藤勇一(くどう ゆういち)千代田区立麹町中学校校長がカンブリア宮殿に登場!
重版	2019年00月00日	重版	2019年00月00日 重版出来 10月15日 3刷 メルヘンでかわいい女の子の衣装デザインカタログ
メディア化	2019年00月00日	メディア化	2019年00月00日 妖怪ウォッチ テレビ東京 金 18:25~18:55
重版	2019年00月00日	重版	2019年00月00日 重版出来 10月16日 パンツ専門ポーズ集 パンツが好きだから大至急パンツが描きたい
重版	2019年00月00日	重版	2019年00月00日 重版出来 瞬く間に 10月16日 3刷出来 SISTERHOOD LITTLE THUNDER ART BOOK
その他	2019年00月00日	その他	2019年00月00日 宗教の教祖と信仰者の触れあいが伝わる、信心の世界のあたたかみを垣間見れる書
メディア化	2019年00月00日	メディア化	2019年00月00日 名探偵コナン 読売テレビ・日本テレビ系 土 18:00~18:30
メディア化	2019年00月00日	メディア化	2019年00月00日 「かくや様は告らせたい~天才たちの恋愛頭脳戦~」実写映画化9/6(金)全国公開!

[もっと見る>](#)

販促情報ヘッドライン

販促情報タイプがタブに、ヘッドラインは見出しとして反映される

タブ「すべて」の表示例ですが、ランダムにピックアップされた1点が左端に書影付きで掲載され、右側に販促情報ヘッドラインというイメージです。

この上にはジャンルのタブもあり、たとえば、コミック担当者ならコミックのタブを選択していると、関連する販促情報も、コミックに紐づいたものだけが表示される仕組みを考えております。見出しは一覧で表示されますので、センスが問われそうです。

簡潔に、スマホで見てもパッと見でわかるように、重要な情報をアタマに配置していただくのがおすすめです。

次にタイプ別の説明です。

販売促進情報タイプ 必須	<input type="checkbox"/> 重版情報 <input type="checkbox"/> メディア化情報 <input type="checkbox"/> 受賞情報 <input type="checkbox"/> 書評情報 <input type="checkbox"/> 新聞広告 <input type="checkbox"/> メディアで紹介 <input type="checkbox"/> 近刊一押し <input type="checkbox"/> 拡材いろいろ <input type="checkbox"/> その他 1. 必須項目です。 2. チェックを入れて下さい（複数選択可）。
-------------------------------	---

販促情報タイプの選択

メディア化情報

実写映画化やアニメ映画化、実写ドラマ化やアニメ化といった定番の情報に加えて、原作売上に
つながりそうなスマホゲームとのコラボや、グッズ発売、イベント、舞台などの情報はこちらから
登録願います。

メディアで紹介

こちらは朝の情報番組、金スマのような番組・対談番組等への著者出演などテレビ番組や、SNS
などでも影響力の大きい情報をご登録願います。

重版情報

重版の情報も登録が出来ます。

とはいえ、定例重版や、最近では POD での重版など、細かな重版まですべて掲載しても、閲覧
する側にとっては情報過多の状態になってしまい、逆効果になりかねません。

注文を促進するという意味合いでも、取次への配本予定ありの重版情報を掲載していただきたい
と考えております。

受賞情報

本屋大賞や、芥川賞直木賞といった有名な賞だけでなく、最近、各地域の書店員さん主催の賞
などいろいろな賞があります。

ここでは主に、受賞オビ巻き出荷などの情報を掲載していただきたいと考えております。

書評情報

書評といっても、新聞や雑誌、その他にも PR 誌など、いろいろな媒体で各種書評や紹介記事が掲載されますが、そのままクリックして Web で読めるものを是非ご登録ください。

例えば、HONZ や、ダヴィンチ・ニュース、コミックスでいえばナタリーなどでしょうか。

書評ブロガーの紹介情報などもこちらにご登録していただくのがよいかと思います。

リンク切れ問題はありますが、掲載期間設定でクリアできます。

近刊一押し

そのほか、重要さを増している近刊の事前プロモーションについても、「近刊一押し」というコーナーを用意します。

著者による書店員さん向けメッセージ、応援書店員さん募集や、関連してゲラやプルーフの申込受付、コメント登録ページへのリンクなども考えられます。

拡材情報

コミック系などでは特に書店の需要が強い拡材関連で、店頭拡材の申込受付フォームや、読者配布物の申込受付フォームなどをご登録ください。

POP やポスターなど、データがアップロードしてあれば、単品仕掛け販売をしたい書店員が Books PRO を閲覧した際に、ダウンロードして活用していただくといった使われ方をイメージしております。

そのほか、全五段や全面カラー広告といった新聞での大広告の掲載情報も登録できます。地方紙・車内吊り・地域ジャック宣伝などのご当地情報についても、項目を検討中です。

また、出版物に関するプレスリリースについては、今後、Books PRO にも登録してくださるようお願いいたします。

Books PRO は、3月10日（火）にローンチを予定しております。

最初は、機能も、情報量も、充分ではないかもしれません。

が、立ち上げて終わりではなく、むしろ、立ち上がったから、書店・出版社からのリクエストに出来るだけ応え、継続的に使い勝手を改良してゆく所存です。

現在、2月3日（月）から、情報を事前にご登録いただけるよう、環境整備を進めているところです。

みなさまの情報提供・ご登録をお待ちしております。

3月のローンチに向けて、社・内外に共有し、編集担当者や、宣伝・プロモーションの担当者、システム担当者などに計画を共有し、情報登録の体制づくりをお願いいたします。

ためし読み機能ご活用のすすめ

試し読み推進委員会 委員長 小見山 康司

今回ご案内するシステムは、小学館が開発されたもので、現在、約 60 の出版社が参加して運用されているものです。

システムまるごと、JPO に運営を移管させていただくことで、ローコストかつ、スピーディに、スタートすることが可能になりました。

年明け早々にテスト稼働を始め、3月から本格的に JPO ためし読みサービスを開始いたします。

ためし読みの機能がどういったものかは、すでに稼働している小学館のサイトで「ためし読み」のアイコンの付いているものでご確認ください。

ためし読みのデータは、現在、各出版社が自社サイトなどで利用することはもちろん、以下の 6 サイトでご利用いただいています。JPO への移管後も継続利用していただける予定です。

サービス名	更新頻度
● Rakuten ブックス	毎日
● honto	毎日
● セブンネットショッピング	毎日
● HMV&BOOKS online	毎日
● e-hon	毎営業日
● Honya Club	毎営業日

新しい展開として、まずは、Books (<https://www.books.or.jp/> ※2020年1月に「Pub DB」より改称予定)にて、年明け早々にテスト稼働を始めます。すでにご参加されている出版社のタイトルについて、Books のサイトで、ためし読みができるようになります。

そして、3月スタートの Books PRO にも、実装いたします。

このシステム導入にあたっては、出版社だけでなく、書店、取次、図書館からご意見をいただきながら準備を進めていますが、各界から大いに期待しているという声をたくさんいただいています。

このシステムを導入すると、出版社の作業負担はどの程度なのか、みなさん、気になることかと思いますが、データのアップロードは非常に簡単にできます。

手順を Youtube にまとめております。下記 URL をご覧ください。

コンテンツアップロード手順:ためし読み(tameshiyo.me) システム使い方編 ~How To Upload

https://www.youtube.com/watch?v=ISR_Odpq6AM&feature=youtu.be

コンテンツ一括アップロード手順

<https://business.tameshiyo.me/mp4/howtozipupload.mp4>

このシステムをお使いいただくには、**JPRO**の会員であることが条件になります。**JPRO**にご参加いただけていない場合は、この機会に、ぜひご参加いただけるようお願いいたします。

なお、ためし読み機能は、**JPRO**のオプションです。

最初の1年間は無料でご利用いただけます。

有料化にあたっては、容量による料金体系を検討中です。既刊も登録でき、新刊とのバランスやページ数など、各出版社が自由に設定できます。なるべく負担のない料金にしたいと考えております。参加出版社の数が多くなればなるほど、1社あたりのコストを低くすることができるかと思えます。

新規参加の出版社については、3月からのご利用開始を予定しております。利用規約も現在作成中です。でき次第あらためてご案内いたします。

【問い合わせ先】

日本出版インフラセンター 事務局

担当 田代・大沼・渡辺（章）

tameshiyo.me@jpo.or.jp

ムック・雑誌の早期登録について

出版情報登録センター
ムック・雑誌登録推進 PT リーダー 井上 直

1. 雑誌・ムック売上状況について（出版科学研究所調べ）

【雑誌】

年	売上	返品率	発行点数
1996年	15,633億円	27.1%	3,257
2018年	5,930億円	43.7%	2,821

【月刊誌】

年	売上	返品率	発行点数
1996年	11,692億円	29.4%	3,177
2018年	4,844億円	44.3%	2,739

【週刊誌】

年	売上	返品率	発行点数
1996年	3,940億円	19.3%	80
2018年	1,086億円	41.2%	82

【ムック】

年	売上	返品率	発行点数
1996年	1,350億円	29.4%	5,036
2018年	726億円	51.6%	7,921

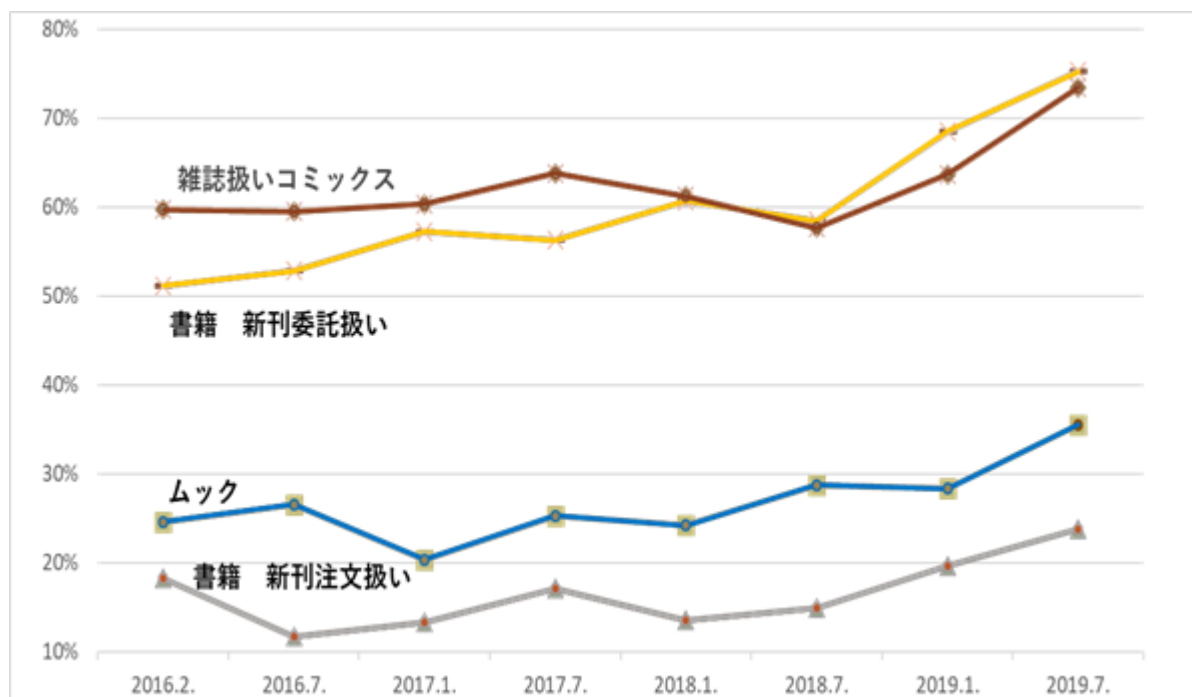
ムック売上はピーク時から半減しているが、発行点数は大幅に増加。陳列できない商品の発生や早期返品が常態化している。

2. 取次雑誌進行委員会による情報集約について

増刊・別冊・ムックについては、現在3か月前に取次雑誌進行委員会によりアンケート集約しておりますが、集約情報が「本誌名」、「サブタイトル（特集名とは限らない）」、「雑誌コード」、「月号」、「定価」、「本体価格」、「（希望）搬入日」、「（希望）発売日」、「発行部数見込み」に限られており、あくまでも業量平準化のための集約であり、売り伸ばしにつなげる情報としては弱い。

3. ムック登録率70%超えにご協力を！

2019年10月現在の登録率は36.9%。ムック登録率早期70%超え達成にご協力いただきたい。雑誌協会加盟社を中心に登録率を高め、また有志の出版社、書店で事前情報を共有し、売り伸ばしにつなげる取り組みをスタートさせる予定です。



参考資料：ジャンル別登録率

4. 書店員からいただいた声（約300名）

- 雑誌、ムックに関しては一切情報が入ってこない。発売前にしっかりとした情報がほしい。
- 書店営業に聞いても分からないことも多く、非常に困っている。
- ムックは冊数が少ないと面陳や平積みができない。追加発注して平積みしたい、書籍コーナーでも展開したいと思っても追加できず、結果即返品している。
- 売り切れ追加不可の銘柄も多く、追加発注で長期販売できる銘柄が多いのもったいない。
- 出版社によって在庫や重版の考え方が異なるので、出版社の傾向をつかむのが大変。
- 情報収集はネット書店のランキングを参考にしている。店頭で事前予約が入った際にもネット書店で検索して売れ筋かどうかを見極めている。
- 付録レビューサイトを必ずチェックし、配本の有無など見落としがないか確認している。
- 出版社のツイッターアカウントを数百フォローし事前情報を逃さないようにしている。